



【歴史めぐりえ(2)】「ウシどん」がのこした山と池

〈ウシどんって…?〉

「ウシどん」とは、小郡につたわる昔ばなしにでてくる大男の名前です。

ウシどんは、ある日「花立山」と「朝日山」が「ひろびろとした、菜の花の世界へ旅をしたいね」を話しているのをききました。

そこで、もっこ（棒の両はしに、ひもでつくった入れ物をつけた道具）にふたつの山をのせてでかけたのですが、ふと足をすべらせて、イラストのように山たちを落としてしまったのです。

〈花立山と朝日山、そして…〉

ウシどんの落とした「花立山」は小郡に、「朝日山」は佐賀県鳥栖市にあります。

そして、このとき「ウシどんの足が地面にめりこんだあと」といわれている「ため池」が、花立山のふもとにあります。

足あとによく似た池とは、いったいどれのことでしょう？

埋文センター
イメージキャラクター「つっこ」

